

整理番号 S-114

出 展 織物欠点解析事例集(第 3 集)

欠 点 名 たて筋(張力斑)

品 名 サテン

試料形態 織物

組 織 5 枚朱子

糸 使 い

たて糸:ポリエステルウーリー 75d/36f (S)1,000T/m

よこ糸:ポリエステルウーリー 150d/48f (S,Z)1,200T/m 配列 1 本交互(1 越)

欠点発生状況

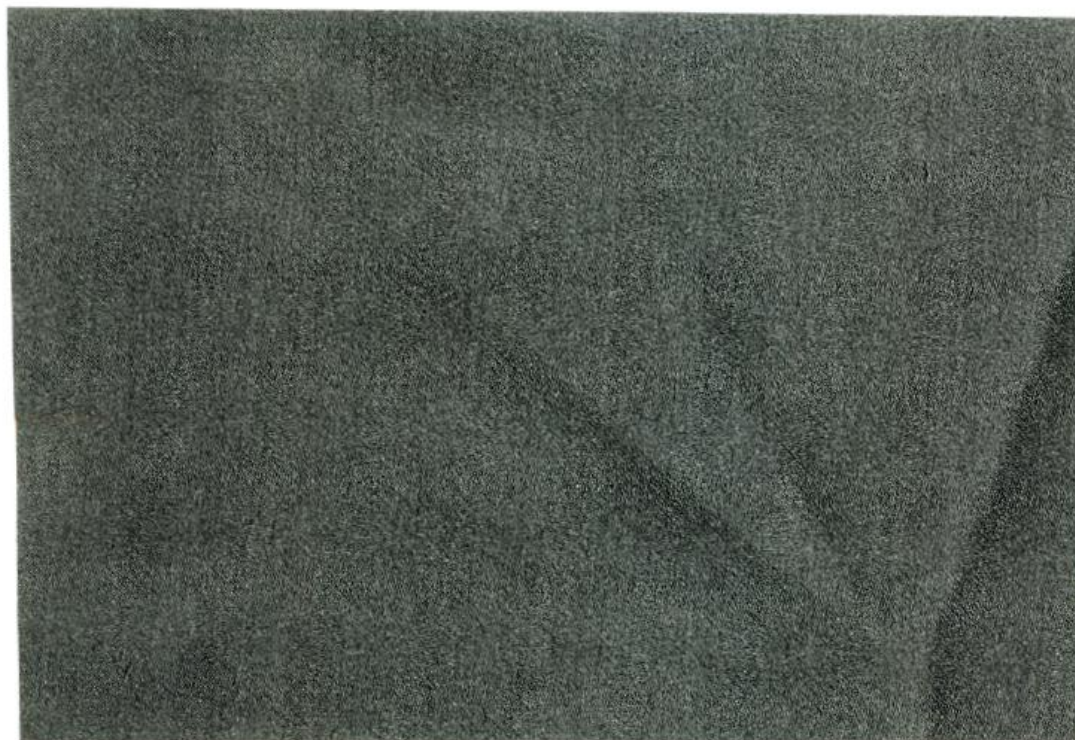
たて筋は生機検査で発見されず、加工後に淡染 1 本筋の状態が目立ち方に強弱の斑がある状態で発現した。サイジング 1 ロット 160 疋中に 3 疋の発生があった。

工 程

たて:POY—仮撚—ダブルツイスター—サイジング—巻返し—引込—WJL—染色加工

よこ:POY—仮撚—ダブルツイスター—ジャンボワインダー—————|

試料写真



試験結果

(1)撚数測定、(2)織度測定、(3)強伸度測定、(4)初期引張抵抗度(ヤング率)

項 目	正常部の糸	経 筋 糸
撚り数 (T/m)	1012	1010
織 度 (d)	66.2	61.9
強 度 (gf)	151.0	220.0
伸 度 (%)	27.7	22.0
初期引張抵抗度 (gf/d)	9.3	11.0

・たて筋糸は織度、強度、伸度、初期引張抵抗度において有意差がある。

所 見

たて筋糸は、POYを使用した仮撚工程中に何らかの原因で過剰な張力が加えられたものと判断される。本欠点の糸は、160 疋中の 3 疋分に相当する長さにもみ発生したことから、極く短時間にかぎって、異常張力が発生し、その後は生常な状態にもどったことになる。この現象は仮撚機では、スピンドルの回転斑として発生しやすい。